



令和3年度 さいたま市福祉施設等従事者研修

アセスメント力向上を目指す 多職種連携研修

高齢・障害・児童等の
種別を問わず、ご参加
いただけます！

複雑な課題や多問題を抱える家族の支援では、一人の利用者への支援を糸口に、多様な機関と連携することで、家族全体への支援を行うことが大切です。

本研修では、家族員一人ひとり、そして家族全体を支援する際の家族システム論を活用したアセスメントのポイントを学び、その上で、多問題家族の事例を用いながら、多職種・多機関で連携し、家族全体を支援していく実践を学ぶことを目的としています。

研修のポイント！

- ◆多問題家族の事例を用いて、支援者として関わる一人のアセスメントから家族全体のアセスメントにつなげます。
- ◆演習を通して、多職種連携の視点を具体的に学びます。

講師

ルーテル学院大学 総合人間学部
教授 福島 喜代子 氏

これからの福祉人材のための研修を
共に作っています



研修概要(申込書裏面)

- ◆日程 令和3年11月9日(火)
10:00~16:00
(9:30から受付、9:55からオリエンテーション)
- ◆開催方法 ZOOMによるオンライン研修
- ◆参加対象 市内の高齢者、障害者、児童分野施設及び事業所において、対人援助業務に従事し、多問題を抱える家族に携わっている、または携わったことがある方
- ◆定員 30名(応募者多数の場合は抽選)
- ◆受講料 無料
- ◆申込締切 令和3年9月3日(金)
17:00 必着
- ◆接続テスト 令和3年11月8日(月)
14:00~15:00

過去に受講した方のコメント

- ◆今まで曖昧だったアセスメントのポイントを学ぶことができたので、支援に活かしたいです。
- ◆個人を支援するだけでなく、家族全体を見ていくことの重要性を理解することができました。
- ◆支援に係る関係機関について、知らない部分がまだまだたくさんあると感じました。もっと知りたいと意欲が出てきました。

主催



社会福祉法人さいたま市社会福祉協議会
地域福祉情報・研修センター

【住所】さいたま市浦和区常盤9-30-22 浦和ふれあい館
【電話】048-835-3111 【FAX】048-835-1222
【メール】kenshu@saitamashi-shakyo.jp

多問題家族の
事例を用いて

アセスメント力向上を目指す多職種連携研修

実施要綱

- 1 目的** 複雑な課題や多問題を抱える家族の場合、一人の利用者への支援を糸口に、多様な機関と連携することで、家族全体への支援を行うことが大切である。
本研修では、家族員一人ひとり、そして家族全体を支援する際の家族システム論を活用したアセスメントのポイントを学び、その上で、多問題家族の事例を用いながら、多職種・多機関で連携し、家族全体を支援していく実践を学ぶことを目的とする。
- 2 主催** さいたま市社会福祉協議会 地域福祉情報・研修センター
- 3 開催日** 令和3年11月9日（火） 10:00～16:00
(9:30から受付、9:55からオリエンテーションを開始)
- 4 開催形式** オンライン開催（ZOOM 使用）
- 5 参加対象** 市内の高齢者、障害者、児童分野施設及び事業所において、対人援助業務に従事し、多問題を抱える家族に携わっている、または携わったことがある方
- 6 定員** 30名 ※応募者多数の場合は抽選
- 7 参加費** 無料
- 8 講師** ルーテル学院大学 総合人間学部 教授 福島 喜代子 氏
- 9 日程及び内容**

時間	内容	講師
9:30～9:55	受付	
9:55～10:00	開会・オリエンテーション	さいたま市社会福祉協議会
10:00～16:00 (昼食休憩あり)	【講義】 <ul style="list-style-type: none">・多職種、多機関による支援 チームアプローチのポイントと目的・アセスメントの意義、手法 家族員一人ひとりと家族全体の家族システム論を 活用したアセスメントのポイント 【演習】 <p>多問題家族の事例を用いて演習を行う。</p> <ul style="list-style-type: none">・種別を超えたグループで、多問題を抱える家族の 事例をどのように見立て、アセスメントし、多職種 で連携するか。・多職種による演習及び発表によってそれぞれの視点 を共有する。	ルーテル学院大学 総合人間学部 教授 福島 喜代子氏

1 0 申込方法 「受講申込書」に必要事項を記入し、FAX またはメールで申込み

1 1 申込締切 令和3年9月3日(金) ※17時必着

1 2 留意点等 本研修の録画・録音・撮影、及び資料の二次利用、SNS等への投稿は固くお断りします。本研修内容の盗用が発覚次第、然るべき対処をするものとします。

本研修は、オンライン会議システム「ZOOM」を利用します。受講にあたって、使用予定の端末にカメラ機能、マイク、イヤホンをご準備ください。スマートフォンでの参加は、長時間に及ぶことや操作上、難が生じる可能性が高いこと、通信料が大きくなることがありますので、ご留意ください。

同一法人から複数名の参加の場合、参加者一人に対し使用端末1台での受講をお願いいたします。ハウリング回避のため、イヤホンの使用や別室での受講等事前にご準備ください。

研修当日、受講者に起因するネット環境不具合により、研修を受講できない場合には、研修を別日程で設定することは致しません。接続テストに参加されない場合には、研修当日、万全の体制で受講ください。

1 3 問い合わせ

社会福祉法人さいたま市社会福祉協議会 地域福祉情報・研修センター

TEL 048-835-3111

FAX 048-835-1222